

2022 年度（第 1 回）中山邸シンポジウム他実施会議 議事録

日時：2022 年 8 月 22 日（月）10:00～12:00

場所：中山邸（倉敷市連島）

出	中山家関係者	中山	石井	三宅	建築士会関係者	吉田（挨拶）	中村（進行）	松原（記録）
		平松					林	野林
欠	オブザーバー	一社（劇団）歴史新大陸：後藤勝徳、後藤高男			その他			

報告他

内容

- ① 日程について（確認）  
制作予定  
約 30 ページ程度（台割は 32 p）
- 2 月には、小冊子印刷  
3 月には、シンポジウム  
コロナでシンポジウムが危ぶまれた場合は小冊子の増刷
- ② シンポジウムは、中山邸で見学会（一般公開）を兼ねて開催。  
講演内容は、近代和風建築について（講師は未定）

- ①（予定）9 月中に、記載内容を決定。案としては下記が挙げられた
- |                      |    |
|----------------------|----|
| 表紙                   | 1p |
| 目次                   | 1p |
| 巻頭言（刊行にあたって：思い・・・）   | 3p |
| ・中山説太郎について           | 5p |
| ・中山邸建設の過程と完成         | 3p |
| ・建物（長屋門、主屋、離れ、内蔵、外蔵） | 8p |
| ・庭園                  | 2p |
| ・登録文化財について（保存と活用）    | 1p |
| ・付録（図面、写真集）          | 5p |
| ・編集後記 奥付             | 2p |
| ・裏表紙                 | 1p |
- 合計で 32 p（4（8）の倍数割）

審議事項

決定事項

① 記載内容の確認

- 【巻頭言】
- ・執筆担当：中山家関係者（中山・石井・三宅）及び行政
  - ・行政側の執筆依頼先を、まちづくり推進課と協議（担当：吉田）
- 【中山説太郎について】
- ・執筆担当：平松
  - ・三代記（オー太郎・説太郎・林之助）のストーリーから語られる
- 【中山邸建設の過程と完成】
- ・執筆担当：野林
  - ・1910 年代にどのようにして工事は行われたか
- 【建物（長屋門、主屋、離れ、内蔵、外蔵）】
- ・執筆担当：建築士会、石井
- 【登録文化財について（保存と活用）】
- ・保存のためには収益を見込んだ活用も必要
  - ・子ども食堂や、近隣学生がサークルなど利用できる場として活用
- 【付録（図面、写真集）】
- ・資料作成担当：建築士会
  - ・建物実測調査図以降、工事が行われている部分は必要に応じて再調査

② 台割（ページ数）の確認

- ・台割については現時点では設定しない
- ・小冊子のサイズは A5（確定ではない）

③ 各担当ごとの締め切り

- ・9 月末頃を締め切りとする

④ 新資料の探索

- ・中山邸建設過程（庭園含む）の資料探索（大本組・大林組・老龍園など）

⑤ その他

- ・シンポジウムとの連携
- ・デザイン

- ・シンポジウムの講師については未定
- ・一般社団法人（劇団）歴史新大陸との連携を検討
- ・冊子デザインについては今後検討

次回：9 月 27 日（火曜日）10:00～

場所：中山邸（倉敷市連島）

議事録作成者：松原